令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	高齢者福祉事業				コード	01030300-0103	
中事業名	高齢者在宅福祉事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	介護福祉課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	03	高齢者福祉・介護保険		款	03	民生費	
主要施策	03	住み慣れた地域で暮らすための支援の充実		項	01	社会福祉費	
				目	02	高齢者福祉費	
				大	01	高齢者福祉事業	
				中	03	高齢者在宅福祉事業	
根拠法令・条例等	日進市高齢者等支援事業実施規則						
基本計画等	にっしん高齢者ゆめプラン						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	要援護高齢者や一人暮らしの高齢者が在宅で自立した生活をおくることができるよう生活支援サービスを実施する。
対象	65歳以上の市民
意図（目的）	要援護高齢者及び一人暮らし高齢者生活支援サービス等を提供することにより、高齢者等の自立の促進及び生活の質の確保を図り、もって総合的な保健福祉の向上に資する。
手段	配食サービス、エコサポート、緊急通報システム等高齢福祉サービス事業等の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			12,758	10,296	12,674	10,595	6,329	5,089	5,850
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	19	17	19	23	20	27	29
	一般財源		12,739	10,279	12,655	10,572	6,309	5,062	5,821

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	緊急通報システム機器について、ICTを活用した事例を研究する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	緊急通報システム機器について、ICTを活用した機器の導入を検討する。

令和 3年度に取り組んだこと	ICTを活用した緊急通報システム機器について、事業者からの提案説明を受けて検討を行った。

成果	ICTを活用した緊急通報システム機器は、現行のシステムに比べて費用が高額になることから、導入には費用対効果のさらなる検証が必要だということがわかった。
課題	ICTを活用した緊急通報システムは、市民が個人負担で導入しているケースも多いことから、公費負担で導入する意義を再検討する必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	支援を必要とする高齢者が自立した生活ができるように引き続き実施する。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	軽度生活援助事業(シルバーサポート）について、利用者負担金の徴収方法の検討を行う。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	エコサポート事業のごみの効率的な収集方法等について検討を行う。				

【アウトプット指標】

指標名	緊急通報システム機器設置者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	113.00	100.00	93.00	100.00	97.00	100.00

【アウトカム指標】

指標名	異常時通報に伴う重大な事故件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
式	異常時通報に伴う重大な事故件数						
指標の狙い	対象者本人又は家族が、虚弱、心身の障害疾病等により、食事の調理や買い物での外出が難しいため、見守りを通じて重大な事故件数が減少するようにする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	介護保険事業				コード	01030400-0201	
中事業名	介護保険推進事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	介護福祉課			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	03	高齢者福祉・介護保険		款	03	民生費	
主要施策	04	介護サービスの充実		項	01	社会福祉費	
				目	02	高齢者福祉費	
				大	02	介護保険事業	
				中	01	介護保険推進事業	
根拠法令・条例等	地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律						
基本計画等	にっしん高齢者ゆめプラン						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	将来に必要な介護サービス量を見込み、第8期介護保険事業計画に基づく施設整備等を行う。
対象	65歳以上の市民
意図（目的）	介護保険事業の推進のための施設整備等を行う。
手段	地域密着型サービス事業所整備補助、介護サービス利用者負担軽減事業の実施

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			71,402	84,417	36,931	44,204	3,371	7,422	3,421
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	10,422	0	0	0	1,399	0
		県支出金	68,720	72,036	33,720	42,376	150	3,153	187
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		2,682	1,959	3,211	1,828	3,221	2,870	3,234

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	8期介護保険事業計画に基づき、必要な基盤サービスの検討を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	8期介護保険事業計画に基づき、必要な基盤サービスの検討を行い、引き続き整備を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	認知症高齢者グループホーム防災改修等支援事業及び介護施設等における新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業に対し、補助金交付の支援を行った。

成果	防災改修事業としてグループホームの給湯器の取替と、感染拡大防止対策事業として介護老人福祉施設のゾーニングを行うことができた。
課題	国、県費の活用により支援を行うため、特になし。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	国及び県の補助金を活用し、介護サービスの基盤整備を進めるため、引き続き実施する。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	８期介護保険事業計画に基づき、必要な基盤サービスの検討を行う。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	８期介護保険事業計画に基づき、必要な基盤サービスの検討を行い、引き続き整備を行う。				

【アウトプット指標】

指標名	地域密着型サービス受給者数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	3,100.00	3,328.00	3,200.00	3,402.00	3,500.00	3,757.00	3,800.00

【アウトカム指標】

指標名	要支援・要介護認定者に対する虐待対応件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
式	要支援・要介護認定者の虐待対応件数						
指標の狙い	施設サービスを必要とする要介護認定者の日常生活の安定と介護者の負担軽減を目的としており、虐待について対応件数が０となることを目標とする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	障害者福祉事業				コード	01040100-0304	
中事業名	障害者福祉支援事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	介護福祉課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	04	障害者・障害児福祉		款	03	民生費	
主要施策	01	障害者（児）の生活支援の充実		項	01	社会福祉費	
				目	01	社会福祉総務費	
				大	03	障害者福祉事業	
				中	04	障害者福祉支援事業	
根拠法令・条例等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	障害者自立支援協議会において、地域課題を検討する専門部会の活動報告や障害福祉計画の評価等を通して、障害のある人が地域で生活していくために必要な施策や事業の具現化を進める。市独自の事業として、紙おむつ助成、タクシー料金助成等を実施し障害者の支援を図る。
対象	障害のある人
意図（目的）	障害福祉計画の策定・進捗管理を行い、また、紙おむつ助成、タクシー料金助成等を行い障害のある人の日常生活の安定、介護者の負担軽減を図る。
手段	障害者自立支援協議会の開催、障害福祉計画の進捗管理、紙おむつ助成、タクシー料金助成等の実施　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			18,093	12,593	20,076	11,911	16,307	12,196	16,568
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	149	80	149	61	149	115	149
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		17,944	12,513	19,927	11,850	16,158	12,081	16,419

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	引き続き障害者等への周知を進め、窓口等において障害者等の状況に合わせた助成等を行い、移動が困難な障害者の外出の機会をより増やし、社会参加促進を図る。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	引き続き障害者等への周知を進め、窓口等において障害者の状況に合わせた助成等を行い、移動が困難な障害者の外出の機会をより増やし、社会参加促進を図る。

令和 3年度に取り組んだこと	移動に困難がある障害者の支援の拡充を図るため、引き続きタクシー料金助成利用券及びリフト付きタクシー料金助成利用券を対象者に交付した。また、障害がある人の円滑な新型コロナウイルスのワクチン接種を推進するため、従来の交付枚数より４枚増加して交付した。

成果	移動に関する支援として、タクシー料金助成利用券及びリフト付きタクシー料金助成利用券を交付することで、移動が困難な障害者の外出の機会を増やし、社会参加促進を図ることができた。また、紙おむつを必要とする障害者に対して、介護保険制度との整合性を図り、適正に事務処理を行うことで、経済的負担を軽減させる助成を行うことができた。
課題	近隣自治体、タクシー会社等の動向を踏まえ、タクシー初乗り料金の改定等に対応していく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	普通車に加え、リフト付きタクシーの助成を行っていることや、障害がある人の円滑な新型コロナウイルスのワクチン接種を推進するため交付枚数を増加したことについて、市の広報や窓口等において周知し、利用の促進を図った。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		引き続き障害者等への周知を進め、窓口等において障害者等の状況に合わせた助成等を行い、移動が困難な障害者の外出の機会をより増やし、社会参加促進を図る。紙おむつ助成については、現行の証明書方式からクーポン券方式に改め、あわせて取り扱い店舗の拡大を図り、利用者の利便性を高める			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		引き続き障害者等への周知を進め、窓口等において障害者等の状況に合わせた助成等を行い、移動が困難な障害者の外出の機会をより増やし、社会参加促進を図る。			

【アウトプット指標】

指標名	タクシー料金助成券発行件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,200.00	1,114.00	1,200.00	1,017.00	1,200.00	1,084.00	1,200.00

【アウトカム指標】

指標名	タクシー料金助成券利用件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	14,500.00	11,321.00	14,500.00	8,723.00	14,500.00	10,078.00	14,500.00
式	タクシー料金助成券利用件数（延べ）						
指標の狙い	タクシー料金助成事業を利用する障害者が増えることは、外出に困難を伴う障害者にとって地域で暮らしやすい状況になっていると考えられる。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	障害者福祉事業				コード	01040100-0306	
中事業名	障害者地域生活支援事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	介護福祉課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	04	障害者・障害児福祉		款	03	民生費	
主要施策	01	障害者（児）の生活支援の充実		項	01	社会福祉費	
				目	01	社会福祉総務費	
				大	03	障害者福祉事業	
				中	06	障害者地域生活支援事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	障害のある人が自ら選択した場所に居住し、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、相談に応じ必要な調査等を行い、障害のある人に必要な地域生活支援事業等を行う。
対象	障害のある人
意図（目的）	地域生活支援事業等を行い、障害のある人の日常生活の安定、介護者の負担軽減を図る。
手段	意思疎通支援事業、移動支援事業、日中一時支援事業等の実施、日常生活用具の給付　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			73,105	68,484	81,326	59,979	80,357	62,934	72,633
財源内訳	特定財源	国庫支出金	17,901	8,329	17,955	13,685	17,549	14,137	15,253
		県支出金	8,950	7,572	8,977	6,794	8,775	7,220	7,626
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		46,254	52,583	54,394	39,500	54,033	41,577	49,754

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	意思疎通支援事業について、今後も利用者にとって必要かつ使いやすいサービス提供を最優先に考え、常に関係者等と連携を図ると共にニーズ把握に努め、より効果がある実施方法について必要に応じ見直しや検討を行っていく。関係会議等で他市町と意見交換や情報交換を行い事務の参考とすることで、円滑な事業の運営を図る。また、手話通訳者や要約筆記者の派遣制度について、引き続き、窓口での案内のほか広報等を活用し、周知に努めていく。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	日常生活用具給付等事業について、技術の進歩や多様化する障害特性により対応できるよう、近隣や先進自治体を参考に、対象品目や基準額等の見直しを検討する。

令和 3年度に取り組んだこと	障害福祉計画に掲げた活動指標を目標として、地域生活支援事業を行った。また、各事業において、必要に応じて近隣市町の状況を確認し参考にするなど、適正な事務処理に努めた。聴覚等の障害のある人のコミュニケーションを保障するため、手話通訳者や要約筆記者の派遣を行った。より一層の周知を図るため、広報の無料相談窓口ページに毎月掲載を行った。

成果	障害者数が増加していく中、必要なサービスの把握と適正な業務の遂行に努めた。手話通訳等の利用の可能性がある方に、窓口での手続きの際に手話通訳者や要約筆記者の派遣制度について案内することに加え、広報の無料相談窓口ページに毎月掲載し、より一層の周知を行い、利用の促進に努めた。
課題	国の法改正や補助制度の変更等に対応しつつ、必須事業と本市に必要な任意事業を継続して実施していくとともに、ニーズや社会状況の変化に応じて事業の見直しを行っていく必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	これまで必要に応じて国の法改正等に伴う要綱の見直しを行っている。令和3年度においても、新型コロナウイルス感染拡大による自粛要請の影響があったが、適正に地域生活支援事業を行った。手話通訳等の利用者にとって必要かつ使いやすいサービス提供を最優先に考え、常に関係者等と連携を図ると共にニーズ把握に努め、より効果がある実施方法について見直しや検討を行っている。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		意思疎通支援事業について、今後も利用者にとって必要かつ使いやすいサービス提供を最優先に考え、常に関係者等と連携を図ると共にニーズ把握に努め、より効果がある実施方法について必要に応じ見直しや検討を行っていく。関係会議等で他市町と意見交換や情報交換を行い事務の参考とすることで、円滑な事業の運営を図る。また、手話通訳者や要約筆記者の派遣制度について、引き続き、窓口での案内のほか広報等を活用し、周知に努めていく。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		日常生活用具給付等事業について、技術の進歩や多様化する障害特性により対応できるよう、近隣や先進自治体を参考に、対象品目や基準額等の見直しを検討する。			

【アウトプット指標】

指標名	延べ利用者数（日中一時支援事業、地域活動支援センター事業）					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	1,350.00	1,266.00	1,350.00	856.00	1,350.00	765.00	1,350.00

【アウトカム指標】

指標名	経費の増減率					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	114.96	100.00	129.33	100.00	110.79	100.00
式	本年度の利用者1人あたりの経費／前年度の利用者1人あたりの経費×100						
指標の狙い	利用者1人あたりの費用の増減を確認することで、安定的な運営となっているか確認する。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	障害者数（音声・言語・聴覚障害）					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	135.00	142.00	145.00	146.00	150.00	144.00	150.00

【アウトカム指標２】

指標名	手話通訳者・要約筆記者派遣件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	65.00	100.00	44.00	100.00	39.00	100.00
式	手話通訳者派遣件数＋要約筆記者派遣件数						
指標の狙い	意思疎通支援を必要とする障害のある人のニーズの把握を行うと共に、利用申請に対し適切な派遣が行われているか、手話通訳者・要約筆記者の派遣体制は整っているか等を検証していく。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	障害者福祉事業				コード	01040100-0307	
中事業名	福祉手当支給事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	介護福祉課			
総合計画	コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	1	一般会計	
基本施策	04	障害者・障害児福祉		款	03	民生費	
主要施策	01	障害者（児）の生活支援の充実		項	01	社会福祉費	
				目	01	社会福祉総務費	
				大	03	障害者福祉事業	
				中	07	福祉手当支給事業	
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	心身に著しく重度の障害がある方を対象とした特別障害者手当や障害児福祉手当のほか、市独自の制度として障害者扶助料等を支給し、障害のある人の自立生活の促進を図る。
対象	障害のある人
意図（目的）	各種手当等の支給を行い、障害のある人の日常生活の安定、介護者の負担軽減を図る。
手段	特別障害者手当、障害児福祉手当、障害者扶助料等の支給　等

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			120,477	116,309	123,699	119,785	125,812	125,218	132,581
財源内訳	特定財源	国庫支出金	17,307	14,413	17,474	15,169	17,888	16,687	19,227
		県支出金	2,129	2,176	2,129	2,259	2,689	2,518	3,172
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		101,041	99,720	104,096	102,357	105,235	106,013	110,182

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	障害者福祉に関する各計画を的確に推進し、持続可能な支援とするため、障害者自立支援協議会等の意見も踏まえ、必要に応じ事業の見直しを検討する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	近隣自治体等の状況を踏まえ、必要に応じ事業の見直しを検討する。

令和 3年度に取り組んだこと	対象となる障害者等に対して、窓口や通知等で案内を行うなど、適正に手当を支給した。

成果	障害のため必要となる負担の軽減の一助として、特別障害者手当、障害者扶助料等の手当を支給することで、障害者等の自立生活の促進及び福祉の増進に寄与した。
課題	障害者扶助料については、平成25年度支給分から一律1,000円減額し、他の障害福祉事業への転換を行ったが、障害者数の増加に伴い支給額は増加しているため、引き続き事業の見直しについて検討をする必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	受給漏れや過払いがないように事務処理に努めた。障害者扶助料は、障害福祉が関わる社会情勢等の状況に応じて、障害特性等を精査した上で、支給要件や給付額等の見直しやその方法について検討が必要である。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	障害者自立支援協議会等の意見も踏まえ、必要に応じ事業の見直しを検討する。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	近隣自治体等の状況を踏まえ、必要に応じ事業の見直しを検討する。				

【アウトプット指標】

指標名	支給対象者数（8月期、各手当の合計）					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	3,100.00	3,173.00	3,200.00	3,221.00	3,300.00	3,318.00	3,400.00

【アウトカム指標】

指標名	扶助料支給１人あたりの事務コスト					単位	円
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	46.00	45.02	46.00	45.53	46.00	44.96	45.00
式	（総事業費－扶助費）/支給対象者数（8月期）						
指標の狙い	年間を通じ支給対象者に変動があるが、それぞれ他の手当の基準月をあわせて、8月期または10月期の支給対象者のコスト比較をする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	介護給付等費用適正化事業				コード	01030300-0101	
中事業名	介護給付等費用適正化事業				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	介護保険			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	7	介護保険特別会計	
基本施策	03	高齢者福祉・介護保険		款	03	地域支援事業等費	
主要施策	03	住み慣れた地域で暮らすための支援の充実		項	01	地域支援事業費	
				目	03	任意事業費	
				大	01	介護給付等費用適正化事業	
				中	01	介護給付等費用適正化事業	
根拠法令・条例等	介護保険法						
基本計画等	にっしん高齢者ゆめプラン						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	第8期介護保険事業計画に基づき、介護保険サービスの適正な運営を行う。
対象	介護保険の被保険者
意図（目的）	被保険者が要介護・要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態となった場合でも、可能な限り地域で自立した日常生活を営むことができる。
手段	給付費通知、介護給付適正化システム保守

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			1,347	1,291	1,284	1,215	1,194	1,152	1,239
財源内訳	特定財源	国庫支出金	518	497	495	468	499	444	477
		県支出金	259	248	248	234	249	222	239
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		570	546	541	513	446	486	523

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	委託回数の調整後の効果について引き続き検証する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	これまでの導入効果を検証し、継続・中止を決定する。

令和 3年度に取り組んだこと	委託回数を削減したなかで、システム運用における給付適正化を行った。

成果	委託回数を削減した環境においても、内容を確認すべきケアプランについては確認を行うことができた。
課題	今後の継続状況について検討を続ける必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	引き続き費用対効果を検証する。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	委託回数の調整後の効果について引き続き検証する。				
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	適切な委託回数について検討をしていく。				

【アウトプット指標】

指標名	適正化事業による過誤申立件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	10.00	10.00	10.00	4.00	10.00	4.00	10.00

【アウトカム指標】

指標名	適正化事業による過誤申立金額					単位	千円
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	100.00	140.00	100.00	22.00	100.00	39.00	100.00
式	適正化事業による過誤申立金額						
指標の狙い	システムにより点検し、抽出されたデータから不必要だと思われる給付について、事業所に報告を求め、是正・指導した結果、給付費の適正化に繋がったと考える。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名	市町村特別給付費				コード	01030400-0101	
中事業名	市町村特別給付費				計画区分	―	
担当部等	健康福祉部		担当課等	介護保険			
総合計画	コード	名称	予算科目		コード	名称	
基本目標	01	健やかに暮らす		会計	7	介護保険特別会計	
基本施策	03	高齢者福祉・介護保険		款	02	保険給付費	
主要施策	04	介護サービスの充実		項	03	市町村特別給付費	
				目	01	市町村特別給付費	
				大	01	市町村特別給付費	
				中	01	市町村特別給付費	
根拠法令・条例等	介護保険法、日進市介護保険条例						
基本計画等	にっしん高齢者ゆめプラン						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	第8期介護保険事業計画に基づき、介護保険サービスの適正な運営を行う。
対象	介護保険の被保険者
意図（目的）	被保険者に必要なサービスが適正に給付される。
手段	市町村特別給付費の給付

2　実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			H31予算額	H31決算額	R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
			33,241	25,721	34,201	22,776	30,000	25,212	35,500
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		33,241	25,721	34,201	22,776	30,000	25,212	35,500

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和 3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	紙おむつ助成について、近隣市町の事業を調査し、検討する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	紙おむつ助成について近隣市町の事業を調査した結果による。

令和 3年度に取り組んだこと	紙おむつ助成について近隣市町の調査を実施し、検討した結果、支給方法を現金給付から助成券給付へ変更するととし、関係例規の整備を行った。

成果	紙おむつ購入助成券制度へ移行する方針決定と関係例規の整備を行うことができた。
課題	紙おむつ購入助成券制度への移行にあたり、利用者への周知及び申請勧奨、取扱店との調整等を行い、円滑な実施につなげる必要がある。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B　現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	介護保険事業計画に基づき引き続き実施する。		

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		紙おむつ購入助成について、利用者の利便性の向上を図るため取扱店の拡大を図る。			
今後の方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		紙おむつ購入助成における助成対象外のチェックを確実に行い、適正なサービス利用につながるようにする。			

【アウトプット指標】

指標名	延べ給付件数					単位	件
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5,600.00	5,920.00	6,000.00	5,686.00	6,000.00	5,745.00	0.00

【アウトカム指標】

指標名	在宅における要支援・要介護認定者に対する虐待対応割合					単位	%
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
式	要支援・要介護認定者の虐待対応件数/要支援・要介護認定者数（年度末）×100						
指標の狙い	特別給付は、在宅の要支援・要介護認定者の日常生活の安定と介護者の負担軽減を目的としており、虐待について対応件数が減少することを目標とする。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

【アウトプット指標２】

指標名	助成券支給人数					単位	人
指標データ	H31年度		R2年度		R3年度		R4年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
							700.00